



—平成26年度 成人式—

歩きだそう! ありがとうのままの自分

松川町公民館報 第611号

成人式実行委員長 関夏美さんの主張は8ページにあります

館報
まつかわ

何ができますか？

外は曇り、今にも雨が降り出しそうです。

記録的な雨が長期間にわたって続き、各地で大きな災害をおこしています。

身近なところでは、木曾郡南木曾町読書の梨子沢・大沢田川で発生した土石流災害。国土交通省設置の定点カメラ映像に思わず息をのんだ人も多かったことと思います。

今(8月末日現在)連日メディアのトップニュースは、広島の大規模な土砂災害。

8月20日未明に発生したこの災害による死者、行方不明者は多数。

まだ続いている悪天候のなか、警察や消防、自衛隊の捜索が3千人で行われ、千人ほどのボランティアも泥やがれきの除去作業に駆け付けられたそうです。他にも全国各地で発生している自然災害。

身近におこりうる災害に対し、どのように対処するか。2回の「暮らしの知識を学ぶ講座」で学習しました。



講師
飯田市 危機管理室 防災係 係長 後藤武志 氏
危機管理士・日本自治体 危機管理学会会員
人と防災未来センター
DISASTER MANAGER (GOLD)

大切な命を守る防災対策

事前対策から避難のあり方について

暮らしの知識を学ぶ講座①

7月29日

なぜ多くの犠牲者が発生するのか

災害者心理から

いつ身近におきても不思議のない災害。

山間部に住む私達は、土石流の災害を知るたびその恐ろしさを思うのですが、その時、此処は大丈夫だろうと意識せず決めてしまっている感があることに、今回気付かされました。

「正常化の偏見」

これは、目の前に危険が迫るまでそれを認めようとしないう人間の心理傾向。つまり一

種の自己防衛機能で、危険を無視することによって心のバランスを保とうとする心理のこと。

この心理が、避難行動の遅れや不適切な行動につながることにあります。

どうすれば命を守ることができるか

段階に応じた対策を！

事前の対策

- ①まわりの危険箇所の把握、常に自分に降りかかるリスクを予想する
- ②携行品、非常持出品、備蓄

- 品を準備する
- ③適切な行動ができるよう訓練する(参加する)
- ④避難先、安否確認方法を確認しておく

発災時の対応

- ①身を守る行動(安全ゾーンへの移動、ダンゴムシのポーズ)
- ②周囲への伝達(身を守れ！落ち着け！火事だ！...)
- ③2次被害への注意(余震、交通事故、単独行動...)

発災後の対応

- ①災害対策本部(地区拠点)への情報伝達・応援要請
- ②複数人での人命救助・救護活動
- ③ライフライン(含む代替手段)、物資の確保
- ④人員(有資格者、交代要員)の確保



最後に「クロスロード」というものを経験しました。言葉の意味は「十字路」「交差

その時、あなたは…

点「辻」。防災活動は、進退を決すべき岐路の連続といえるそうです。

津波が車や瓦礫を巻き込みながら水かさを増すなかで、高所に逃げる人々の動画が見せられます。群衆の中に一人、動きの遅い高齢の男性。

ここで質問。

「おじいさんに気が付いて助けに向かう人は？」

3人が手を挙げます。

「そのおじいさんが近所の人で、今朝がた話をしたばかりだったら？」

何人か増えます。

「おじいさんが自分の家族

避難所運営ゲームHUGをやってみよう！

暮らしの知識を学ぶ講座②

8月19日

HUGの説明

H : hinanzyo …… 避難所
U : unei …… 運営
G : game …… ゲーム

意味は「抱きしめる」

右のように避難所運営ゲームのことを、頭文字からHUG（ハグ）ともいいます。

だったら？」

また、何人か増えます。

この質問で3つの岐路が出てきますが、二次災害の可能性、残された家族の悲しみなど：五感をフルに働かせての判断が必要になります。

自分自身の『命を守る』行動が、自分の地域、ひいてはわが国を地震から守ることにつながります。

『居安思危』：安きに居りて危うきを思う。今、この時から防災についての正しい知識を備え、その場に依じた判断ができるよう訓練を重ねることが大切です。

避難所運営ゲームって？

何をやるの？

このゲームは、災害に遭遇し避難所に入ったと想定して始まります。

その避難所に集まった人々の年齢、性別、国籍、それぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所として見立てた平面図に、どれだけ適切に配

置できるか。

また、避難所で起こる様々な出来事にどう対処していくかを模擬体験するものです。

ゲームの進め方の説明を聞きしあと、自己紹介をしてスタートです。

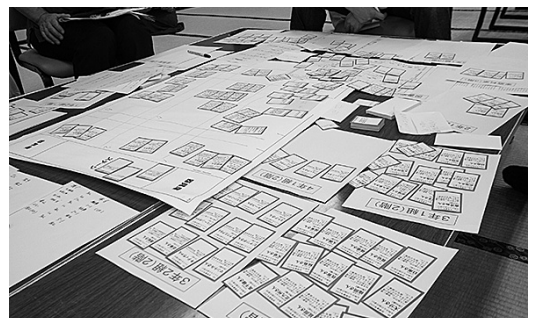
〈ゲームの条件〉

- ・きょうは8月19日(火)
- ・避難場所は北南小学校
- ・時刻は午後4時～11時の間
- ・午前11時に駿河湾を震源とするマグニチュード8の大地震発生。震源の深さ30キロ。
- ・自分の立場は自治会、自主防災会の役員で避難所運営を適切に行う。

避難者カードを下の写真のように、避難所となつている学校の体育館、教室などにそれぞれ振りわけます。

それぞれの収容人数が決められたなかで年齢、家族関係、健康状態などを考えながらの作業は大変なこと。様々な条件が刻々と変わるなかで、素早い決断が求められます。

10人集まれば10の考えがあるように、なかなか、ひとつにまとめるのは難しく、試行錯誤のくり返し。



スペースに人々を振り分ける

それでも講師の後藤さんの助言もいただいて、少しずつ先が見えてきたようでした。

ゲームということで、避難者カードを、あちこちと簡単に置き換えていましたが、現実には、手荷物など全て持った移動は不可能ともいえます。

皆さんの感想にもありましたが、1回きりの受講ではなく、折にふれて自治会なり地区内でも体験し、トレーニングすることができれば良いのかな、と思います。

ゲームとして体験するだけでも大変な作業、実際には、ただオロオロしそうな現実ですが、これからの事を考え、少しずつでも学習していけると良いと思った実のある講座でした。



音楽を食べちゃおう! 楽しく おいしく学ぶ 合唱セミナー

松川町公民館自主企画講座「松川少年少女合唱クラブ」

このプロジェクトでは、楽譜上で目と耳を使った練習だけでなく、手を使うことで理解を深めようというテーマを持っていきます。そこで、合唱練習だけでなく、音楽にちなんだパンやお菓子作りも行なわれました。パンとお菓子を音符に見立て、楽譜を作りました。

合唱の練習は1日2時間ほ

松川にひびけ！子どもの歌声プロジェクト第2弾、合唱セミナーが、8月7日から3日間に渡って開かれました。今回は、小学生8人、中学生2人、コーラス部に所属する高校生2人が参加しました。講師は、第1弾と同様に、声楽家・合唱指導者として活躍されている堀内千鶴子さんと千咲さん親子です。準備や運営は、参加した子どもたちの保護者の皆さんが協力して進めました。



姿勢や呼吸を意識しやすい寝転んでのトレーニング



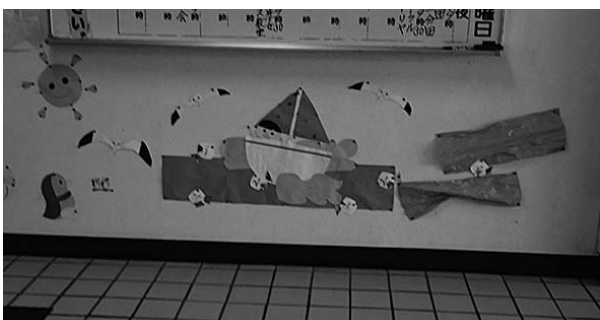
パンとお菓子で作った楽譜



元気に生き活きと歌いました

最終日の9日は発表会を行い、練習の成果を披露しました。アンコールも含めて4曲、堂々と歌い上げました。そして、発表会のあとは、お菓子とパンで会食をしました。歌の基礎を楽しく学び、おいしく音楽に触れた3日間となりました。

愛莉さんは、職員の話や指示を素直に受け止め、真面目に取り組んでいたそうです。また、将来得意な美術に関わる仕事に就きたいと考えているということもあり、今回、玄関を入ってすぐ右の受付下の壁に季節を感じるデザインを考え、夏らしい涼しげな飾り付けをしてくれました。(いつもは「スタジオ チフリ」の皆さんが製作してくれています。)是非ご覧ください。



大島さんが作成した壁画の飾り付け

中学生が中央公民館で職場体験

中学生のもつ感性・力を発揮

8月1日(金)から3日(日)までの3日間、中央公民館で松川中2年大島愛莉さんが職場体験を行いました。

1日目の午前中は、管理人さんと一緒に、公民館の玄関ロビーの窓ふき、運動公園でのゴミ拾いなどを、午後はロビー壁面一部のデザインを考えました。2日目は、地域を

さて、愛莉さんは、実習記録の中に「公民館の仕事は、地域の方々と共に学んだり楽しんだりして、とても大事だと思いました」「職場(部員)の方々は明るく、笑顔でコミュニケーションをとっていました」と書いています。公民館の大切さ、あり方をしっかりとらえた感想です。

知る講座第3回「町に残る戦争遺跡の見学」の受付や写真撮影等のお手伝い、午後はロビーの壁に飾り付けを行いました。3日目は、人形劇場の準備・片づけ等を本館社会部員と一緒にしました。

これからの松川を担う中学生。職場体験も含め、いろんな場において公民館へ関わって、その良さ・力を発揮して欲しいと思いました。



不思議な豆狸 とび出てポン！ 人形劇場 8月3日

久しぶりに人形劇を見ました。演じてくれたのは、愛知県の人形劇団「ばんび」の皆さん。クラブ結成から数えるとかれこれ60年！の歴史ある劇団です。

初めに「わらしべ長者」を紙芝居で見ました。皆さんご存知の、人の良い男が相手のために物を交換していくというお話。お地蔵様のお告げのとおり、人助けの物々交換で長者になる、というその話を子ども心に信じたものでした。現在、年金受給可能な年齢になり、人が良いばかりでは生きられなかつたな、と考えさせられました。

さあ、お待ちかねの人形劇の始まりです。

「豆狸だ。ばんー」

のんびり者の酒屋の2代目、梅吉。父親に叱られて閉じ込められた酒蔵で一匹の狸に出会います。

狸と一緒に一晩中遊んだ次の日の蔵の酒が…。何と、とても美味しくなって大評判に。その狸は豆狸で、そこに居

るだけで酒や味噌、醤油の味が良くなるため、評判を聞いた他のお店の旦那さん達へ、お礼をもらっ

た父親が貸し出してしまいました。

だんだん元気がなくなってしまう豆狸を心配して、父親に貸し出しをやめるよう頼みますが…。とうとう豆狸は亡くなってしまう。悲しみのなかで梅吉は必死で勉強し、美味しい酒を作ります。そして各店の店先には、狸の置き物が置かれるようになったそう。

「ばんび」の人形劇は昔話をもとに親しみやすい人形が舞台せましと動きます。話のなかには、教訓めいたピリ辛な部分もあり、大人も充分に楽しめます。いい大人形劇フェスタに合わせたのひとときの観劇。大満足でした。



人形の動きに引き込まれる子どもたち

生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

（その三十五）

森キャンプ 〜夏〜（一）

夏のアウトドアと言えばなんとと言っても森の中で行うキャンプです。青年の家では夏休みの8月11日から13日まで23名の小学生による2泊3日の森キャンプ〜夏〜を実施しました。

知恵を出しての買い出し

今回のキャンプでは自分たちの使う食器は家から持参せずに、竹を使ってめいめいが作ったものを使いました。竹を切るのが初めての子にとってはまっすぐに切ることが難しく、出来上がった食器を台の上で置くと少し斜めになったものもありましたが、最後には紙ヤスリで磨いてマイ椀と箸が出来上がりました。

さて、今回のキャンプの食事は全てグループごとに作ることにしたところ、班によって様々な献立になりました。はじめにみんなで献立や購入する食材の計画を立ててから、配られたお金を持ってスーパー

で買い出しをしました。なかなか計画通りには行かず、計算機を片手に店内を走り回っていました。それでも、自分たちで食材を自由に選んだり仲間と相談しながら買ったたりすることがとても楽しそうでした。お金が余った班では少し上等なお肉に変えたり飲み物を買ったりして、なるべく残金を少なくするような工夫をする姿も見られました。子どもなりに協力しながら、知恵を働かせた買い出しでした。

楽しい夕食会

ここで、2回の夕飯について紹介しましょう。1日目はすべて班ごとの献立だったので、定番のカレーを作った班だけでなく、手作りハンバーグや鉄板を使って焼きそばに挑戦したグループもありました。日頃、お母さんの作っている姿を見ているらしく、分量



焼きそばに挑戦



みんないただきます

など考えながら手際よく進める男の子。お母さんのお手伝いをしているのでしようか、いらなくなった道具をさっさと洗っている女の子。子どもも頑張りました。また、もうもうと立ちこめる煙の中、むせびながらも火焚きをがんばっているお友達のおかげで、私達たちは美味しいご飯をいただくことができました。2日目の夕食は、どのグループもバーベキューにしました。思ったより予算に余裕があったので、1枚300円ぐらいのステーキを一人1枚ずつと、グループで用意した肉もあり、とても豪華な夕食会になりました。みんな食べる前はたくさん食べたが、ステーキを食べたらお腹がいっぱいになってしまいました。私もこんな恵まれたキャンプは初めてでした。



松川オープン
ソフトボール決勝戦

8月24日(日)にオープンソフトボールの決勝戦が行われました。

結果は次のとおり。
優勝 上町
準優勝 城北A
3位 松川
宗源原

悪天候続く中でも
元気よく
スポーツ!!

第8回 南信州アルプスまつかわ ロードレース大会 in くだものの里

くだものの里に笑顔が咲く！
子どもも大人も、みんなが楽しい大会です！
みなさんのご協力・応援をよろしくお願いいたします。

日時：10月5日(日) 10:00スタート
場所：信州まつかわ温泉 清流苑
桑園 増野横断道路 周辺

松川町駅伝 三十周年記念大会

第30回松川町駅伝大会

日時：11月9日(日) 9:10スタート
スタート・ゴール：松川町営グラウンド

今年は30回目の記念大会です！
多くみなさんのご参加・ご協力・
応援をよろしくお願いいたします。
申込締切は、10月上旬を予定！お
待ちしております！



信毎多目的広報車
「な～のちゃん号」
も来るよ！

松川町民運動会

スポーツの秋！各地区の運動会にぜひご参加ください！

大島会場：10月13日(月・祝) 9:00開会
松川中学校グラウンド
上片桐会場：10月12日(日) 9:00開会
松川北小学校グラウンド
生田会場：10月13日(月・祝) 9:00開会
生田グラウンド

第34回 芸能 歌と踊りの夕べ 8月31日(日)

日頃の練習の
成果を発揮!!



と踊りの夕べ

すぽっと 生東の森まつり開催

生東森の会 松下 忠寛

去る、8月3日に生田の長峰地籍にて、「生東の森まつり」が開催されました。このイベントは、生東森の会主催で松川町共催、協賛で生東子ども会育成会、いちきん、じかばしの会、飯伊森林組合で構成されました。

主催者の生東森の会では、長野県地域発元気づくり支援金を活用して製作された、炭窯関係のお披露目も兼ねまた、今年から長野県で制定された「信州山の月間」にちなんで木材関係を利用した簡単な製作ブースを開設して一日を楽しみました。



My 箸づくり



お披露目された炭窯

会長、共催の松川町町長の深津徹様挨拶に始まり、来賓の下伊那地方事務所林務課課長の山口勝也様と生東区長下沢政弥様よりご挨拶を頂きました。その後場所を今回支援金を利用して頂いた炭窯へ移動して、お披露目をしつつ火入れ式をしました。おおぜいの参加者が見守る中、始めての火を窯に点けたところすぐに後方の煙突より白い煙がでてきたのが印象的でした。

又、各製作ブースですが、

竹炭を利用したペンダントは最後まで子どもたちが熱心に磨いておりました。又、間伐材を利用したマイ箸の製作も子ども達や大人も一緒に夢中になっており、用意した材料全てを使い切りました。マスのつかみ取りは小学生以下での参加でしたが、小さい子どもさんの楽しそうな顔を見られて心が休まりました。何より印象的なブースが丸太を利用したコースターですが、最初から最後まで男女を問わず大人の人達が我を忘れて紙やすりで磨いていたのが印象的であり、それぞれの人が明日への活力になった一日だった。



魚のつかみとりに大ハジャギ

た様な気がしました。今回のイベントには200名余の参加者があり、盛大に開催できたことに感謝、感謝でありました。

新中央公民館平面図案に関する

意見募集結果公表

館報7月号でも掲載した改築する中央公民館の平面図案に関するパブリックコメントと意見に対する町としての考えが、8月25日に公表されました。意見の募集は、7月10日から8月8日まで行われ、10件の意見が寄せられました。安全性や耐久性への配慮についてや喫煙室の必要性、機能性を重視した備品の選定、多目的ホールの利用目的の明確化、また大きな事業費を中央公民館に充てることへの疑問等がありました。意見に対し町は、事業費に関して、町の社会教育に不可欠な施設であり規模や建築費は適正であること。喫煙室の設置について、多くの利用者の中には喫煙者も含まれ、そ

短歌

北原愛子(弥久司)

農に生き土と語り卒寿まで
今日も汗して葱に土よせ

いたわれ老い行く我に友の手は
春日ようなり涙こぼるる

残雪の赤石を眺む露天風呂
紅の雲は何処へやら行く

ちきれ飛ぶ雲はいづこの夕空へ
山のそびらの茜薄れる

ねぎ坊主取りて干したり来春の
植えるを夢見て大事に手入れす

の方々にも配慮していること。安全性や耐久性、機能性や利用目的には十分配慮して事業を進めること。等の考え方を示しました。

詳しくは、町ホームページに掲載されていますので、ご覧ください。

お問合せ先

教育委員会生涯学習課

(中央公民館内)

電話 36-2622



まちの石仏 ③④ 「馬頭観音③」(鶴部・實相院跡東)

旅の安全や家畜を守る神として祀られた馬頭観音。多くのものが、合掌した観音立像の頭上に馬頭を載せている。



主張 松川町で育ったことを誇りに

月日が流れるのは早いもので、私も今年で21歳を迎える年になりました。成人式という人生の中で一つの大きな節目を終えた今、大人として、社会人として、自覚とその責任を再度心にとめ、新たな気持ちで心構えを持つことができたように感じております。

この20年間、両親を始め家族、恩師の方々、友人、地域の皆様、本当に多くの方々に支えていただけて生きてきました。今日の私があるのは、沢山の方々の支えと、あたたかい目があったからこそだと身に染みて感じております。また、今まで沢山の人のとの出会いの中で、様々な考えや、思い、温かさに触れてきました。そこでの経験と、感じ得たものは、私の人生の中のかげがえのない財産となりました。成人を迎えた今、お世話になった多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、これからは社会

の一員として歩んでいきたいと思っております。現在、私は松川町の保育園で保育士として勤めさせていただいております。日々子どもたちの笑顔に触れることができ、今まで感じたことのない喜びと感動の場面に沢山出会うことができることに、とても喜びを感じております。また、地域の皆様の温かさや松川町の素晴らしさを改めて感じます。そんな素晴らしい環境の中で子どもたちと一緒に、毎日楽しく、成長していかれたらと思っております。また、保育士としても社会人としても未熟な私ですが、初心と感謝の気持ちを忘れずに日々精進して参りたいと思っております。自然豊かで人の温かさを感じる松川町に生まれ、育つ



式典

たことを誇りに思い、一人の人として、一歩ずつ進んでいきたいです。最後になりましたが、多くの方々のお力添えがあり今年も盛大な成人式を開催することができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

成人式実行委員長
関 夏実



久しぶりの友人とハイ、チーズ!



凛々しい制服姿の意見発表

2022年 章

朝、駐車場から勤務先までの道を歩いていると、前方から来る車の動きがおかしい。徐行というよりほぼ停止状態。とても慎重に運転している。後続車もこれまた同じ動き。よく見ると生後一カ月ほどの子ネコが車道にちょこんと座っている。

近寄っていくと、か細い声で鳴くが動かない。車の通行が途切れたので道路脇へ誘導してみるが、動かない。「ここにしていると危ないよ」と通じもしないコトバを発してみたが、やはり動かない。そうこうしているとき後方から先を急いでいる車の車。しかし様子を察し、徐行してくれてひと安心。

すると近くの建物の清掃員が「なかなか動かんなあ」とやってきた。一緒に道路脇に誘導したものの「また車道へ出そう」と話していたら、今度は近くの建設現場の作業員がやってきた。「よくその角における野良だ。母親とはぐれたな。大丈夫、いつもおる所に誘導していつてみるで」。子ネコとの出会いがきっかけとなり、穏やかな気持ちで一日をスタートすることができた。(坂本美帆)

公民館報
「まつかわ」
第 611 号
平成26年9月15日

発行所 松川町公民館
責任者 矢澤 登
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。